

ゆずり葉の道の効果

“ゆずり葉の道”になると、どのように変わるのでしょうか。

これまでの実績をみると、まず車については、

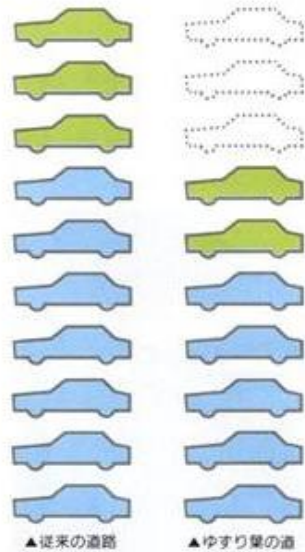
- 通る台数が約25～35%減少した。
- 走る速度が約15～20%遅くなり(平均速度で約5km/h) 猛スピードで走る車がなくなった。
- 駐停車する車が減り、停車の時間も短くなった。

というような効果がでています。

つぎに歩行者などの利用者は、以前より大変利用しやすくなったと感じており、“明るく” “安全” なイメージとして受け取っていることがわかっています。

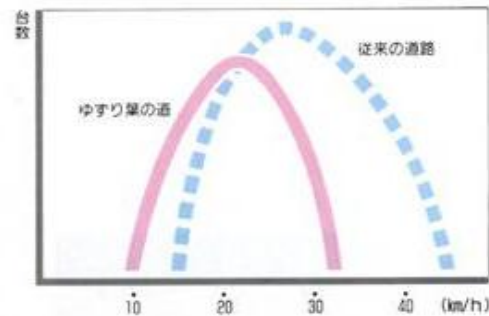
そして、多くの方々が“ゆずり葉の道”の整備を望んでいます。

■自動車の交通量

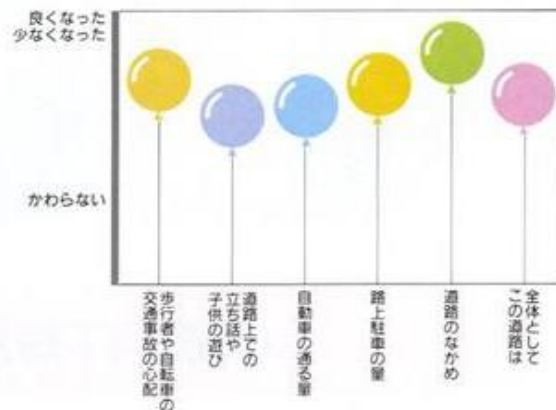


- 沿道に用事のある車
- 沿道に用事のない車
- 減少した車

■自動車のスピード



■市民の評価



ゆずり葉ゾーン

まちでは多くの人々が働き、またそこに住んでいます。そしてまちには多くの道があり、さまざまな使われ方がされています。

そのなかで、生活道路は人や車の通行路としてだけでなく、日常生活の最も身近な公共の場所でもあります。例えば子供の遊び場であったり、母親達の立話しやお年寄達の憩いの場ともなります。

このような使われ方がされるように考え出されたのが、“ゆずり葉の道”ですが、この考え方を住宅地全体に広げていくためには一定の範囲を総合的に計画していく必要があります。

そこで大阪市は、人と車が共存できるまちづくりを目指し、“ゆずり葉ゾーン”として総合的に整備を進めることにしました。昭和59・60年度に城東区関目地区で整備をしたほか、現在市内10地区(昭和63年3月31日現在)で整備を進めています。

